

FISHERIES  
CONTROL  
OFFICE

三角港の港湾関連用地として  
埋め立て整備された土地。  
隣接地には、三角港フェリーターミナル(海のピラミッド)  
がそびえ立つ。  
ここに、海の交番とも言うべき機能を備えた  
施設が建設された。  
旧建物の老朽化にともない  
移転建て替えられたもので  
違反操業等の取締りのため  
近接する専用栈橋から昼夜問わず出航している。  
一般には直接的な接点が少ない施設であるが、

Kumamoto Artpolis

K・A・P

くまもとアートポリス

熊本県

くまもとアートポリス事務局  
熊本県土木部建築課 〒862-8570 熊本市水前寺6-18-1  
☎096-383-1111 (6215)

海の秩序を守る目的から、海と人、海とまちを  
つなげる役割を果たせる可能性を持っている。  
その意味で、これから形成される  
この地の景観に対して、  
より良き指針となることと同時に、  
三角町全体のまちづくりに寄与することが  
期待されている。







● 建築概要

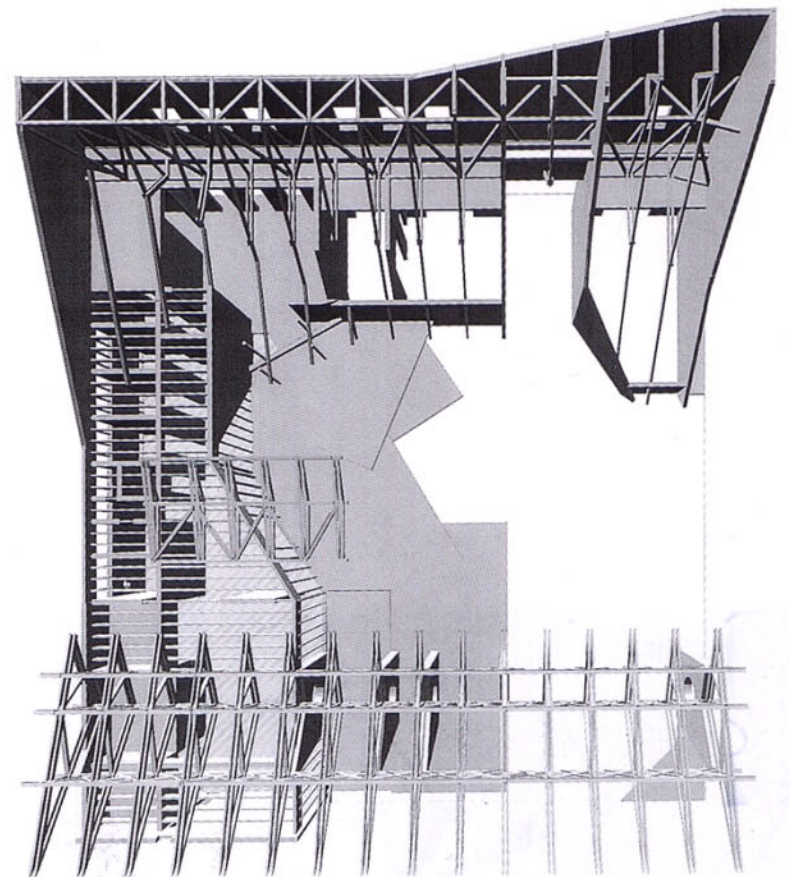
三角町は現在、住宅地と海(港)との間に、鉄道と国道が横切り、さらに当敷地を含む埋立地の開発によって、次第に生活の場から港と海は遠のいて行ってしまう(物理的・心理的に)。

そこで、本計画では、遠のいてしまったマチへ密接につながる機能を付加することで、海との距離を縮め、港と日常生活とを結び付け、それによって本来港が備えていた生活空間・空間価値としての役割を再び取り戻すことを試みている。

海側には、敷地一杯に広げられたゲート状の大屋根が配置され、海からやってくる神、幸、富を迎え入れる「神への門構え」となる。(かつて「御門」と表記してミスミと読んでいたことともイメージが重なる。)地面の隆起したデッキが、背後の山々の稜線と重なる屋根へと結ばれ、その先の山手に連なる住宅地へと意識を繋げている。門によって迎かえ入れられた風には、鉄道・道路を飛び超えてマチへの方向性が与えられ、さらにはマチと港を見下ろす天翔台へと導かれる。

● 建築データ

名称/漁業取締事務所  
 所在地/宇土郡三角町東港1160-36  
 主要用途/事務所  
 事業主体/熊本県  
 設計者/小材健治  
 施工者/建築/山口工務店  
           電気/金子電気  
           機械/熊本利水工業  
 敷地面積/900.02㎡  
 建築面積/482.09㎡  
 延面積/322.85㎡  
 階数/地上1階  
 構造/木造+鉄筋コンクリート造  
 外部仕上/屋根/ステンレス鋼板  
           外壁/杉下見板、RC打放し、  
           ステンレス鋼板スパンドレル張り  
 施工期間/1997年9月~1998年2月  
 総工事費/142百万円



● 建築家プロフィール

小材 健治 (こざいけんじ)

1959年 熊本生まれ  
 1984年 熊本大学大学院修了  
 1984年~1987年 伊藤建築事務所勤務  
 1987年~1989年 アルテック建築研究所勤務  
 1989年 ばん設計小材事務所設立

● 主な作品

山江村温泉健康センター、高原邸、山江村はたる館、人吉の舎Ⅰ、人吉の舎Ⅱ、水俣第二中学校体育館



PHOTO/宮井政次